

知立市ユニバーサルデザイン推進計画策定協議会第4回 策定協議会議事録《要旨》

日時：平成19年4月24日（火）15：00～17：00

開催場所：知立市役所 3階 第2・3会議室

出席者：委員9名（欠席者 藤沢委員、高橋委員、杉山委員）事務局7名

＜議事次第＞

1. 挨拶
2. 報告事項
 - 1) 第3回協議会での指摘事項と対応について
3. 協議事項
 - 1) 平成19年度協議会の検討事項について
 - 2) 平成19年度計画策定のスケジュール
4. その他

＜報告事項概要＞

第3回協議会での指摘事項と対応については事前配布の資料3に記載。

事前配付した知立市ユニバーサルデザイン推進計画(素案)のP54右下の町風公園は丁風公園が正しい名称。

＜協議事項概要＞

◆平成19年度協議会の検討事項について

事務局：ユニバーサルデザインの導入プロセスと協議会での検討事項に関する事務局の提案は資料5に記載。

野崎会長：今後の議論のために学識経験者による基礎講演を行う。

事務局：疑似体験について中部運輸局の交通バリアフリー教室をこの協議会の主催で市内で行う考え。

高木委員：駅は障害者だけではなく子供たちも使うので、できる限り多くの年代の方で行う方がいいと思う。

事務局：交通バリアフリー教室は中部運輸局が各市町村で展開している。内容は障害の疑似体験だけではなくアレンジとして、ベビーカーを使ったり、妊婦さんの体験を行っても問題は無い。

高木委員：疑似体験を行うのに例えば名古屋までいくなら補助がいるし、そういった人員をどうするのか、また他人に無関心な人間に眼を向けさせるのも一つのユニバーサルだと思う。

岩元委員：バスはリフトの目線が高く、怖いと言う話を聞くのでそういったことも行ってはどうかと思う。

兼子委員：場所を決めておいて欲しい。私は今日坂道を通っていたら雨が降ってきて大変怖い思いをし、また、駅でも普通の人なら数メートルの距離をかなり遠回りした。それらも体験しておいて欲しい。

田中委員：今は高架の関係があるが仮線に対応してしまえばある程度名鉄も対応はしてくれると思う。

杉浦委員：仮設駅的な感じにはなるがユニバーサルデザインにしてくれると思う。

高木委員：対象者は特定せずに広く集めた方がいいと思う。

兼子委員：集まりすぎると目的が達成できなくなる。

野崎会長：小中学校で行う場合は学校からいきなり駅に出かけるのではなく、一旦出向いて話をし、賛成して頂いてからという段階を踏むべき。

高木委員：小学校4年生か5年生に総合学習があったと思うが今はカリキュラムが変わったか。

事務局：総合学習として行う場合は6月1日の校長会で呼びかけて9月か10月に行う形になると思う。

兼子委員：バイクや自転車がスピードを出していると車いすの方が一人で通ることができないと思う。知立駅のみではなく、市全体をみていかないと市がよくなる。

兼子委員：地下道を通るバイクや自転車についても一度警察の方も絡めて話さないといけないと思う。

野崎会長：誘導ブロックも全部繋がっている必要はないので多少切れ目をいれて薄くするという案もある。特別扱いしてどうぞ、ではなくさりげなくするのもユニバーサルデザインだと思う。

事務局：検討の具体案のⅡ、Ⅲについては次回こちらから案をだすので、次回までに各団体の方でアンケ

ートで質問したい項目を考えておいて欲しい。今のところアンケートの具体案はまだない。

野崎会長：知立駅周辺 500m以内のユニバーサルデザインの現況調査についてとアンケート調査をもとにユニバーサルデザインのチェックリストを作る。金城学院大学の学生に勉強を兼ねて御願います。

高木委員：対象は駅周辺地域住民のみか駅を利用する人全体のどちらなのか。これだと住民のみに思える。

野崎会長：私は利用者と住民の両方を想定している。利用している方にアンケート用紙を渡して行く。

高木委員：知立駅から豊田や刈谷に行かれる方も乗り換えで乗り降りされる方にはどう対応するのか？また、家族がいると家族が代わりに答えてしまうことが多いが、子供の意見を反映する方法も考えたい。

兼子委員：以前、町づくりとしてイルミネーションをつけたが、やっている私たちは一生懸命で利用者の方には喜ばれたが、実際に周辺に住んでいる方は迷惑そうにしていたので反省することになった。

保田委員：考え方を学ぶという事のようなのだが、みんなで話し合ったほうがいいのではないかと思う。

野崎会長：ユニバーサルデザインは協議会のみで議論して案を考えるよりも幅広く意見を聞いてそれを話し合う方法の方が啓蒙活動も含めていいと思う。気を長く、幅広く、我慢して行うのがユニバーサルデザイン。バリアフリーの方は特定の相手に対して行うため簡単、それを理解して頂きたい。

保田委員：抽象的な話にはついて行けないのでテーマが欲しい、

野崎会長：今日はみなさんに提案をし、次回から具体的に提案して頂くということ。ここだけではなく、実際に出て行き、それを元に更に話し合っていけばイメージができてくるのではないか。

保田委員：そのように行うにしても、これだけの人間でやるのか、中学校小学校をいれていくのか、一般の方をいれていくのかということが知りたい。

野崎会長：事務局の方からも言ったのですが、作業部会をつくって素案をつくるという話もある。

岩元委員：私共もトヨタの系列で長く行っているため、PBCAのPまで行くのにどうしてこんなに時間が掛かるのか、テーマを決めてしまえばいいと思う。私も頭を切り換えなければ。

保田委員：こういう立派な案がもう出ているのだからこれを勉強すれば色んな議論が出てくるのでは。

野崎会長：実際の調査についてチェックリストをつくる際に行う。前年度はユニバーサルデザインがどういうものかといった話だったが、今年度は具体的にを行うので、次回から具体案を出すということ。

◆平成 19 年度計画策定のスケジュール

事務局：次回はアンケートの件について協議。日程を調整したのち調査を行い、3 回目に調査結果を含めたワークショップ。4回目に UD チェックリストの検証を行っていくという形で進めていく。

保田委員：アンケートを作るのに基礎講座を受けておけばアンケート内容の意見をだせるのではないか、作ってしまった後に聞いたとしても我々はアンケート作成時に内容の詳細が理解できない。

野崎会長：その日程もあるので、できたら基調講演をして頂く。

事務局：一応内容の話も提案させて頂きながら、再度次回、色んな体験をしたり、講座を聞いた中で次の内容を検討して頂いた方がいいかどうか考えて頂くということでしょうか。

野崎会長：私の希望としては 2 回はみんなで駅に出て行き、今までの知識と学識経験者から聞いた話、商店街の状況といったものと現地での感想を併せていきたい。その場合宿題になるかもしれない。

保田委員：個人的に言わせてもらおうと、宿題をもらった方が会で相談できるので助かる。

野崎会長：余り負担になるといけないと思っていたが、宿題をたまには出す。

◆次回予定

事務局：次回の協議会の日程は 6 月 5 の火曜日 13:30 から第一会議室で行う予定。その時にアンケートの内容について皆さんにご検討頂き、どういうスケジュールでプロセスを決めるのかも、もう少し具体的に提示したい。時間については、今回は委員の中に家庭の事情で 16:00 に退席しなければならない方がいるため、早い時間に設定した。